

各地幼稚

園だより

大阪市立御津幼稚園

富はま子

一、沿革の概要

本園は明治十八年に御津清水校保育課として、設置せられました。明治二十二年十月南區御津幼稚園といふ名稱になつて御津小學校内に設置せられる様になり、更に明治二十六年四月に御津幼稚園と改稱せられました。明治二十二年から今日迄既に五十四年の歳月を経過いたしました。その間數回移轉改築増築等がありました。現在の園舎は昭和九年關西の大風水害の災に逢ひましたのを昭和十三年三月から改築起工に著手いたしました。同十三年十二月竣工し、十四年三月に落成いたしましたものであります。

一、位置、大阪市南區三ツ寺町三五番地

一、園舎、敷地坪數は凡そ五百二十坪

建坪凡そ百八十九坪、木造スレート葺二階建て採光通

風良く色彩明朗な近代的園舎であります。

一、園兒數、凡そ二百名

一、組數、組別

組數は七組

組別は年齢別で生年月日順

一、職員數、園長一、保母八、衛生婦一、使丁四、

一、保育料、月額壹圓「全市共通」

一、母の會、特に母の會はありません。後援團體で御津之會といふものがあり會員は父兄であります。會費一ヶ月部内は八拾錢郊外は壹圓參拾錢であります。然しこの會の中で園の諸儀式行事費の補助をいたします。又必要に應じ母の會保護者會修養會、鍊成會研究等をいたしその費用を支辨いたします。

一、が家庭との聯絡機關となります。

一、保育について

保育方針は既に定められて居ります。大阪市の保育方針に従つて行つて居ります。(別紙參照)

1、教育に關する勅語の御趣旨に基き保育の全般に互つて皇道を修練せしめ國體に對する觀念を深めること。

2、善良なる性情の涵養を健全なる心身の育成に務めること。

「殊に身體の健康に留意して榮養と衛生に注意し給食の施設をなせる事」

3、家庭及び社會との聯絡を緊密にし家庭教育の改善をはかること

4、保育は生活に即して具體的實際的にすること等

大變抽象的なことを申しましたが、日々幼児が登園いたしましたら、朝の挨拶、所持品の仕末、履物の仕末等いたさせまして含嗽をさせ、用便の躰、後朝會をいたします。朝會は最も嚴肅に集合、整列を正しく、宮城遙拜及び黙禱、朝の挨拶、訓話、等をいたしました後に幼稚園體操、「大阪市で作つたもの」歩行練習をいたします。その後肝油給與、室内保育、屋外保育、手洗、晝食「給食」いたします。御飯は家庭から持参させ副食物だけ幼稚園で作ります。食後の含嗽、自由遊で歸宅準備等各幼稚園で行ひます行事大差ありません。

最後に大阪の子供は商業地の子供であるだけに利害の觀念に誠に敏感でありますから、保育方針の第三項に示してあります新産業道の樹立云々といふ事を幼児の時から注意し公益優先の念を養はねばならないと存じて居ます。

大阪市の保育方針

- 一、國體の本義に基き皇民道德の萌芽を啓善すべし。
- 二、興亞の理想に則り、剛健なる心身の基礎的鍊成に努むべし。

三、大阪市の使命に鑑み新産業道の樹立に必要な精神の育成に留意すべし。

四、家庭との聯絡を緊密にし家庭教育の改善をはかるべし。

宮城女師附屬幼稚園

木村 豊 女

○當幼稚園の所在地

附屬幼稚園の所在地中島丁は青葉城址の近く水清き廣瀬川のほとりにあつて閑靜なる住宅街でございます。

昭和十一年四月十五日創立され職員數三名、現在園兒數八五名、一ヶ年保育の年長組一組、二ヶ年保育の年少組一組に編成、保育料一圓五拾錢、母の會費年額五圓五十錢

○保育方針

大きな時代の廻轉と共に幼児教育の目標が新しくならなければならなくなりました。日本精神で新しい世界を牽るるに先づ其の前提として、東亞の建設を目指すこの時代に、是までの様な甘い育て方は許されないので。日本精神に則り幼いながらも皇國民としての鍊成をするに共に常に勤勞を喜ぶ精神を養ふために作業教育を熟しねばり強きまで實踐してゐます。この正しい秩序ある習慣を養成することは心身の健全な發達を促しやがて第二